

市民の皆さんと市長との懇談会を開催

—2020年春の佐貴駅駅名改称を目標とすることなど、3つのテーマで意見交換—

市では、佐貴駅周辺地域における、市の玄関口にふさわしいにぎわいの創出や定住促進・交流人口の増加に向けた基盤整備を図るため、「JR常磐線佐貴駅駅名改称」「牛久沼を活かした“牛久沼『感幸地』構想”の策定」「佐貴駅東口ロータリーの改修」などの取り組みを進めています。

これらの取り組みについて市民の皆さんに説明し、広くご意見をいただくため、5月19日・20日の2日間、コミュニティセンター4カ所を会場に、「市民の皆さんと市長との懇談会」を開催しました。懇談会には延べ147人の方が参加し、それぞれのテーマについて、さまざまなご意見をいただきました。新駅名「龍ヶ崎市駅」への改称時期については、JRで予定している「2020年春の大規模施設機器更新」時を目標とする方針を市が定め、今後JRとの協定締結など所要の手続きを進めていくことなどについて、活発な意見交換が行われました。

いただいたご意見や当日の資料は、市公式ホームページでご覧いただけます。また駅名改称の取り組みについては、今後も適時、市民の皆さんへお知らせしていきます。



「^{れんが}旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀」が国登録有形文化財に決定

今年3月、国登録有形文化財候補として文化審議会文化財分科会から答申があった、「旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀」が、5月10日付けで正式に国の文化財登録原簿に登録、告示されました。

この煉瓦門および塀は、市民により組織された赤レンガ保存実行委員会（久保田房子委員長）によって、移築・保存されたものです。市民の皆さんからの募金や実行委員会委員が寄せた寄付金、東日本鉄道文化財団助成金、市の「市民協働事業提案」への応募により受けた助成金などによって移築工事が行われました。

煉瓦門および塀は、上町八坂神社脇の公園に隣接した市有地に移築され、実行委員会によって説明板も立てられています。ぜひ見学してみてください。



久保田房子氏のコメント

明治の煉瓦門をまちに遺せたこと、また登録文化財に認定されたことは、本当にうれしく、9年間、ご支援下さいました皆さまに、改めてお礼申し上げます。移築後、小学生との交流が続き、赤レンガが親しみやすい近代遺産であることを実感しております。